

Cisco Secure Endpointでゴールデンイメージを準備する方法

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[優先フラグ](#)

[手順](#)

[ゴールデンイメージの更新](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、ホストにCisco Secure Endpointを導入するための「ゴールデンイメージ」を準備する手順について説明します。これは、仮想マシン(VM)またはハードウェアの「ゴールデンイメージ」を使用して動作します。「ゴールデンイメージ」は、1つのイメージファイルから複数のホストにCisco Secure Endpointをインストールするために使用されます。

前提条件

要件

- Windows OSコマンドプロンプトの使用
- 仮想環境に関する知識

注：Secure Endpoint Windows Connector 6.3.1に、新しいインストール機能フラグが追加されました。これにより、コネクタを登録したり、展開で重複の問題を引き起こしたりすることなく、コネクタをインストールできます。

優先フラグ

インストーラを使用すると、ゴールデンイメージに使用する新しいフラグは/goldenimage [1|0]になります

- 0 – デフォルト値 – この値はゴールデンイメージオプションをトリガーせず、インストーラがオプションなしで実行されたかのように動作します。インストール時に初期コネクタの登録と起動をスキップしません。

```
C:\> CiscoInstaller_goldenimage.exe /R /S /goldenimage 0 [other options...]
```

- 1 – ゴールデンイメージとしてインストールします。これはフラグとともに使用される一般的なオプションであり、唯一の想定される使用法です。インストール時にコネクタの初期登録と起動をスキップします。

```
C:\> CiscoInstaller_goldenimage.exe /R /S /goldenimage 1 [other options...]
```

手順

注：「ゴールデンイメージ」の準備のためにコネクタを最後に取り付けることをお勧めします。

1. Windowsイメージを要件に合わせて準備します。コネクタ以外のwindowsイメージに必要なソフトウェア構成をすべてインストールしてください。
2. Cisco Secure Endpointをインストールします。
3. /goldenimage 1フラグを使用して、これがゴールデンイメージ展開であることをインストーラに示します。

```
C:\> CiscoInstaller_goldenimage.exe /R /S /goldenimage 1
```

4. インストールを完了します。
5. ゴールデンイメージをフリーズします。

「ゴールデンイメージ」にアプリケーションがインストールされ、システムが停止し、セキュアエンドポイントに/goldenimageフラグがインストールされた後、ホストはフリーズして配布する準備が整いました。複製されたホストが起動すると、セキュアエンドポイントが起動し、クラウドに登録されます。ポリシーまたはホストに変更を加える場合を除き、コネクタの設定に関するアクションは不要です。

このフラグは、コネクタがベースイメージ上で起動および登録するのを防止します。イメージの次の開始時に、コネクタは、割り当てられたポリシーによって設定された機能状態になります。

重要：VMをフリーズする前にゴールデンイメージがAMPクラウドに登録された場合は、ゴールデンイメージVMでSecure Endpointをアンインストールして再インストールし、VMを再びフリーズして、登録とコネクタの重複の問題を防止することをお勧めします。このアンインストールプロセスの一部として、AMPのレジストリ値を変更することは推奨されません。

ゴールデンイメージの更新

未登録のコネクタを保持するためにゴールデンイメージを更新する必要がある場合は、2つのオプションがあります。

推奨プロセス

1. コネクタをアンインストールします。
2. ホストの更新/アップグレードをインストールします。
3. ゴールデンイメージフラグを使用して、ゴールデンイメージプロセスの後にコネクタを再インストールします。
4. プロセスが実行された場合、ホストはコネクタを起動しません。
5. イメージをフリーズします。
6. クローンをスピン・アップする前に、不要な重複ホストを防ぐために、ゴールデン・イメージがポータルに登録されていないことを確認します。

代替プロセス

1. コネクタの登録を防止するために、ホストがインターネットに接続されていないことを確認します。
2. コネクタサービスを停止します。
3. 更新プログラムをインストールします。
4. 更新が完了したら、イメージをフリーズします
5. 重複ホストが発生しないようにするため、コネクタの登録を防止する必要があります。接続を削除すると、クラウドに登録するために外部に到達できなくなります。また、停止しているコネクタは、次のリブートまで同じ状態を維持し、クローンを一意のホストとして登録できるようにします。
6. クローンをスピン・アップする前に、不要な重複ホストを防ぐために、ゴールデン・イメージがポータルに登録されていないことを確認します。

関連情報

- [Cisco Secure Endpoint Connectorサービスの無効化と有効化](#)
- [Cisco Secure Endpoints - TechNotes](#)
- [Cisco Secure Endpoints – ユーザガイド](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)